

とちぶん会報

No.62

2020年12月15日

栃木県文芸家協会 発行人 福田 三男
事務局／栃木県下都賀郡壬生町中央町16-18 三上博史 方
〒321-0226 TEL090-9318-2492

福田三男新会長の就任挨拶

コロナウイルス感染症の影響で9月に開催された総会で会長に選出されました。思えば前々会長の松本富生さんから「みっちゃん、入りなよ」と誘われて入会したのは10数年前の事でした。自分で考えても決して「いい会員」ではなかったと思いますし、代々のそうそうたる会長と比べると、いかにも小粒だと思われまふ。躊躇する気持ちがなかったわけではありませんが、皆さんから励まされて引き受けることにいたしました。着任した以上、全力で取り組む所存です。

伝統ある本会ですが、問題もあります。ひとつは財政です。会長として最初の仕事が皆さんに会費の値上げをお願いすることでした。早くも私の不徳が現れたようでまことに申し訳なく思っています。数年前から会の財政はひっ迫していたのですが、3月に急逝された会計の綾部さんのご努力で何とか収支をトントンに収めてきました。しかし、前年度の決算はとうとう赤字になってしまいました。幸い皆さんのご理解をいただき、財政改善のめどが立ちました。ありがとうございます。

二つ目は会員の減少と高齢化です。多くの文化団体が直面している問題です。本会もここ数年は100人を出たり入ったり、という状況が続いています。会員の皆さんの周囲には、ふさわしい人がきつというらっしゃると思います。ぜひ声をかけて入会を勧めてください。また、このホームページをご覧になっている、非会員の皆さんにも入会をお勧めします。

コロナが私たちの生活の隅々にまで影響と変化をもたらしています。流行はまだしばらく続きそうですが、早くもポストコロナが話題になっています。コロナによって私たちの生活が劇的に変わることは避けられないことのように思われます。暮らしが変われば文学も変わります。ポストコロナにふさわしい新しい文学を仲間たちとともに創り上げてまいりましょう。本会がその中心的な役割を担うことができれば、本当に素晴らしいことだと思います。

※ 令和2年9月27日に開催された令和2年度栃木県文芸家協会総会において、小林守城氏に代わって福田三男氏が新会長に選出されました。

朝明第9号が発刊

朝明第9号(発行日:2021年1月1日)が、当初の予定どおり無事刊行されました。会員各位には同封したとおり2冊送付します。これから迎える年末年始、会員がペンを執った作品の数々にゆつくり目を通して味わっていただければと思います。

第9号が発行されたことにより、前号の第8号はバックナンバーとなり、作品をPDF化して協会ホームページに掲載されます。これによって、インターネット環境のある方はどこからでも朝明第8号の全作品を閲覧することが可能となります。掲載され次第、このことはホームページでお知らせいたします。

※ 追加注文のご案内

追加注文を希望する場合は、同封した合評会の出欠返信ハガキ、事務局へのeメール(アドレス:hmikami1@outlook.jp)・電話(090-9318-2492)のいずれかの方法でご注文ください。在庫がある限り承ります。

朝明第9号への意見・感想について

朝明第9号へのご意見・ご感想をお寄せください。同封した合評会の出欠返信ハガキに書き添えていただくか、事務局へのeメール(アドレス:hmikamil@outlook.jp)でも構いません。

いただいたご意見等は、整理して来年1月17日(日)に開催する合評会において資料配付する予定です。

朝明第9号合評会を開催します(新春懇親会は中止)

朝明第9号合評会について、例年と同じように以下のとおり開催することとなりました。会員の積極的な参加をお願いいたします。

例年合評会終了後に開催していました新春懇親会は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑みて、今回は中止することになりました。あしからずご了承ください。

○ 日 時 令和3年1月17日(日) 午後1時30分～3時

○ 会 場 栃木県教育会館 [宇都宮市駒生1-1-6/TEL 028(621)7177]

/JR 宇都宮駅方面から関東バス「作新学院・駒生」行きに乗車し「東中丸(会館前)」下車
駐車場有り

※ 当日はマスクを着用し、発熱している方の来場は不可。

※ 同封した出欠の返信ハガキを1月8日(金)までに事務局あて必ず送付してください。

会員から寄付がありました

小説・評論部門の高杉治憲様から当協会への多額の寄付の申し出がありました。今回の有り難いご寄付は、協会の安定的な運営のために大切に使用させていただきます。

高杉治憲様、誠にありがとうございました。

第3回編集会議を開催、朝明第9号は校正・印刷へ

朝明第9号発行に係る第3回編集会議は、11月10日(火)ホテル・ザ・セントレ宇都宮にて開催されました。7名の委員が出席しました。

印刷会社から届いた初校ゲラを各部門の編集委員に配付し、初校は各編集委員が担当して行い、二校は編集委員長が行って責了とすることが了承されました。

§ 寄贈書籍の紹介 §

○ 『『そなた』終刊号(エッセイ集)』/編集・発行・ペンするクラブ(代表 水樹涼子)/発行・2020年11月[代表からの寄贈]

・リレーエッセイ「〇〇〇〇〇」、自由題、テーマエッセイ「時代」について、9名の執筆者が書いている。

○ 「添削から学ぶ 川柳上達法」三上博史著/発行所・新葉館出版/発行日・2020年11月16日[著者からの寄贈]

・「川柳しもつけ」(下野川柳会発行)に、平成30年1月から令和元年12月までの2年間「新人教室」として連載した添削指導を大幅に加筆訂正してまとめた川柳入門書である。207ページ。

*∞*事務局通信*∞*

朝明第9号が発行されました。これに伴い第8号がPDF化されてホームページに全作品が掲載されます。前年度に決定されたことではありますが、今回協会として大きな一歩を踏み出したものと思っています。

新春懇親会が中止となりました。協会の今年度事業のうち、会員の懇親を深める行事がすべてなくなりました。誠に残念なことです。コロナの収束には時間がかかりますが、何とか耐えて頑張りましょう。(三上)